

学会の動き

平成 28 年度日本難病看護学会総会 議事録

日時： 平成 28 年 8 月 26 日（金）12 時 10 分～13 時 00 分

会場： 北海道医療大学

会員数

641 人（平成 28 年 3 月末現在）

平成 27 年度会員数推移（41 人増）

入会者数 124 人

退会者数 83 人

1. 平成 27 年度事業報告

下記の事業内容について報告された。

1) 第 20 回日本難病看護学会学術集会開催

会 長： 本田 彰子（東京医科歯科大学大学院）

メインテーマ： 「難病看護の過去・現在・未来―生への寄り添いを難病看護の
専門性へつなぐ―」

会 場： 大田区産業プラザ Pio（東京都大田区）

会 期： 平成 27 年 7 月 24 日（金）～7 月 25 日（土）

参 加 者： 440 人

2) 学会誌発行

20 巻 1 号 平成 27 年 7 月発行 750 部

20 巻 2 号 平成 27 年 12 月発行 820 部

20 巻 3 号 平成 28 年 3 月発行 800 部

3) 理事会開催（全 3 回）

平成 27 年 5 月 11 日：

平成 26 年度会計報告、平成 27 年度予算について

第 20 回学術集会について

第 21 回学術集会について

学会企画セミナーについて

学会認定難病看護師制度について

法人化について

20 周年記念事業について

平成 27 年 7 月 23 日：

総会報告事項について

法人化について

平成 27 年 12 月 10 日：

学会認定難病看護師制度について

学会企画セミナーについて

法人化について

第 21 回学術集会について

4) 学術関連の活動等

(1) 日本看護系学会連絡協議会：

日本学術会議および国内の学術組織との交流・相互協力。
社会に貢献できる看護学研究の推進。

(2) 看護系学会等社会保険連合：

看護技術検討委員会。

診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会。

5) 日本難病看護学会として得た研究助成金による研究活動

公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

交付金額：500 千円

第 20 回日本難病看護学会学術集会における下記特別講演およびシンポジウム

特別講演 1：神経難病の在宅医療・地域ケアシステムの創生と現在における提案

特別講演 2：在宅療養における医療の責任－医事法学的検討－

シンポジウム：地域での療養を“支えきる”

6) セミナー等による研究成果の普及交流活動

(1) 日本難病看護学会 企画セミナー

「箱根で学ぶ神経難病看護」シリーズ

「知の普及」 鈴廣かまぼこの里 鈴の音ホール

第 9 回 平成 27 年 5 月 30 日（土） 69 名

臨床看護師のための事例研究

神経難病気道ケアの最新所見

第 10 回 平成 27 年 10 月 17 日（土） 33 名

コミュニケーション支援の実際

ランチセミナー：フィジカルアセスメント

神経難病療養相談の展開

第 11 回 平成 28 年 2 月 20 日（土） 32 名

参加型難病看護事例検討会

ランチセミナー：フィジカルアセスメント

在宅人工呼吸器完全マスター

(2) 講演・公開症例検討会

平成 27 年 7 月 10 日（金）・国立精神・神経医療研究センター病院 31 名

神経・筋疾患における非侵襲的人工呼吸療法（NIV 療法）と療養管理

快適な NIV をめざして

(3) 「神経難病療養者の摂食嚥下障害 メカニズムとその対応」

平成 27 年 7 月 23 日（木）・大田区産業プラザ Pio 57 名

神経難病の摂食嚥下障害のメカニズムと対応

摂食嚥下チームの活動

7) 第 3 回日本難病看護学会認定 難病看護師 制度 認定研修会・修了試験実施

日 時： 平成 27 年 11 月 14 日（土）・11 月 15 日（日）

会 場： 東京医科歯科大学

三期生 44 名の難病看護師が誕生。

8) 法人化準備委員会

日本難病看護学会の法人化に向けた準備についての活動報告があり、承認された。

2. 平成 27 年度会計報告（自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日）

科目	予算	決算	(決算 - 予算)
①会費 ¹⁾	4,950,000	4,761,000	△189,000
②報告集・学会誌売上 ²⁾	100,000	143,782	43,782
③寄付金 ³⁾	0	1,071,060	1,071,060
④雑収入 ⁴⁾	0	8,322	8,322
⑤セミナー ⁵⁾	400,000	458,300	58,300
⑥前年度繰越金	8,743,449	8,743,449	0
収入合計	14,193,449	15,185,913	992,464

1) 内訳：529 人（H28 年度分前受 2 人、H27 年度分 525 人、H26 年度分 2 人）

2) 内訳：学会誌 92 部

3) 内訳：第 20 回学術集会 754,000 円、難病看護師認定制度 279,560 円、役員 1,000 円、
学会員 36,500 円

4) 内訳：文献許諾使用料 8,322 円

5) 収入：内訳 ・ 5 月 30 日企画セミナー

参加費 非会員 100,000 円、会員 86,000 円、関係者 5,000 円

・ 7 月 10 日企画セミナー

参加費 非会員 11,500 円、会員 800 円

・ 7 月 23 日企画セミナー

参加費 セミナーのみ参加 23,000 円、会員又は学術集会参加 17,000 円

・ 10 月 17 日企画セミナー

参加費 非会員 70,000 円、会員 34,000 円、関係者 2,000 円

・ 2 月 20 日企画セミナー

参加費 非会員 75,000 円、会員 28,000 円、関係者 6,000 円

科目	予算	決算	(決算 - 予算)
①学会誌発行費 ¹⁾	700,000	1,064,880	364,880
②学術集会補助金	1,000,000	1,000,000	0
③学術団体活動分担金 ²⁾	158,000	158,230	230
④会員管理費等 ³⁾	581,000	581,000	0
⑤人件費 ⁴⁾	539,500	539,500	0
⑥送料・手数料	400,000	402,091	2,091
⑦会議費 ⁵⁾	200,000	138,160	△61,840
⑧事務費	400,000	398,170	△1,830
⑨セミナー等費 ⁶⁾	800,000	737,925	△62,075
⑩難病看護師認定委員会活動費	300,000	300,000	0
⑪広報活動費	64,800	64,800	0
⑫法人化準備委員会活動費	600,000	0	△600,000
⑬20周年記念事業費	400,000	0	△400,000
⑭予備費	8,050,149	0	△8,050,149
支出合計	14,193,449	5,384,756	△8,808,693

- 1)内訳：20 (1) 750 部、(2) 820 部、(3) 800 部
- 2)内訳：日本看護系学会連絡協議会会費 80,000 円、看護系学会等社会保険連合会費 70,000 円、日本学術協力財団「学術の動向」購読代金 8,230 円
- 3)会員管理にかかるPC、ソフト等費用および作業人件費 8,300 円×70 日
- 4)会誌編集等および学会事務、ホームページ維持管理に関する人件費 8,300 円×65 日
- 5)内訳：遠方理事旅費
- 6)支出：内訳
 - ・5月20日企画セミナー
講師謝金 56,550 円、講師旅費 10,560 円、運営旅費 15,480 円、昼食代 105,462 円、会議費 22,320 円、通信運搬費 610 円、役務費 864 円
 - ・7月10日企画セミナー
講師謝金 22,620 円、講師旅費 6,000 円、印刷代 5,700 円、役務費 1,944 円
 - ・7月23日企画セミナー
講師謝金 30,160 円、講師旅費 2,800 円、昼食代 7,000 円、会議費 1,196 円、役務費 324 円
 - ・10月17日企画セミナー
講師謝金 30,850 円、講師旅費 54,300 円、運営旅費 7,460 円、昼食代 61,560 円、会議費 10,297 円、通信運搬費 14,880 円、役務費 3,672 円
 - ・2月20日企画セミナー
講師謝金 64,090 円、講師旅費 57,340 円、運営旅費 4,260 円、昼食代 116,100 円、会議費 770 円、物品費 3,232 円、通信運搬費 18,660 円、役務費 864 円

次年度繰越金 15,185,913 円 - 5,384,756 円 = 9,801,157 円

3. 平成 27 年度会計監査報告

上記のとおり会計報告があり、川村佐和子監事、菅原京子監事から会計報告に相違なく、帳簿類も正確に記載されていたという会計監査報告があり、承認された。

4. 平成 28 年度事業計画

下記の事業計画が報告され、承認された。

1) 第 21 回日本難病看護学会学術集会

会 長： 佐々木 栄子 (北海道医療大学)
 メインテーマ： 「難病療養者のセルフマネジメント」
 会 場： 北海道医療大学 (北海道石狩郡)
 会 期： 平成 28 年 8 月 26 日 (金) ~ 8 月 27 日 (土)

2) 研究助成金による研究活動

- (1) 公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 2015 年度「在宅医療推進のための学会等への共催」
助成交付金額：500 千円
第 21 回日本難病看護学会学術集会における特別講演およびシンポジウム

3) 学術関連の活動等

- (1) 日本看護系学会連絡協議会：
日本学術会議および国内の学術組織との交流・相互協力。
社会に貢献できる看護学研究の推進。
- (2) 看護系学会等社会保険連合：
看護技術検討委員会。
診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会。

4) セミナー等による研究成果の普及交流活動

(1) 日本難病看護学会 企画セミナー

「箱根で学ぶ神経難病看護」シリーズ 鈴廣かまぼこの里 鈴の音ホール
知の普及 神経難病テキストの実践

第12回 平成28年5月28日(土)

つながる難病看護のための基礎知識

参加者同士でつながる：事例から学ぶ難病看護

地域でつながる難病看護

第13回 平成28年10月22日(土)

看護のための遺伝の基礎知識

参加者同士がつながる：事例から学ぶ難病看護

難病の遺伝看護事例検討

(2) 日本難病看護学会企画・学術集会プレセミナー

「はじめが肝心、難病看護」

平成28年8月25日(木)・ACU1605

「ふんばれ、がんばれ、ギランバレー！」誕生秘話

意思伝達支援からみた「準備期」に求められる看護

その他：

平成29年2月18日臨時総会に合わせ、記念セミナーを計画。

5) 日本難病看護学会認定・難病看護師 認定研修会・修了試験

第4回日本難病看護学会認定・難病看護師 認定研修会・修了試験の実施予定についての説明があり、承認された。

5. 平成28年度予算案

下記のとおり予算案が報告され、承認された

科目	27年度決算	28年度予算
①会費 ¹⁾	4,761,000	4,950,000
②報告集・学会誌 売り上げ	143,782	100,000
③寄付金	1,071,060	0
④雑収入	8,322	0
⑤セミナー	458,300	400,000
⑥前年度繰越金	8,743,449	9,801,157
収入合計	15,185,913	15,251,157

1)内訳：9,000円×550人

科目	27年度決算	28年度予算	28年度補正予算
①学会誌発行費 ¹⁾	1,064,880	700,000	700,000
②学術集会補助金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
③学術団体活動分担金 ²⁾	158,230	158,000	158,230
④会員管理費等 ³⁾	581,000	581,000	581,000
⑤人件費 ⁴⁾	539,500	539,500	539,500
⑥送料・手数料	402,091	400,000	400,000
⑦会議費	138,160	200,000	200,000
⑧事務費	398,170	400,000	400,000
⑨雑費	0	0	0
⑩セミナー等費	737,925	800,000	800,000
⑪選挙管理費	0	150,000	0
⑫難病看護師認定制度委員会活動費	300,000	300,000	300,000
⑬広報活動費 ⁵⁾	64,800	64,800	64,800
⑭法人化準備委員会活動費 ⁶⁾	0	600,000	600,000
⑮予備費	0	7,606,849	9,507,627
支出合計		14,193,449	15,251,157

1) 内訳：21 (1) (2) (3) 各 800 部発行予定

2) 内訳：日本看護系学会連絡協議会会費 80,000 円
看護系学会等社会保険連合会費 70,000 円
日本学術協力財団「学術の動向」購読代金 8,230 円

3) 会員管理にかかる PC、ソフト等費用および作業人件費 8,300 円×70 日

4) 学会誌編集等および学会事務、ホームページ維持管理に関する人件費 8,300 円×65 日

5) ホームページサーバー管理費 5,400 円×12 ヶ月

6) 法人化移行業務 217,000 円、法人化登記補助業務 200,000 円、委員会開催会議費 183,000 円

6. 法人化について

日本難病看護学会の法人化についての検討結果報告、法人化へ向けた計画、法人化後の学会組織等についての修正提案があり、承認された。

7. 第 22 回日本難病看護学会学術集会 会長挨拶

小長谷百絵氏（上智大学）より、第 22 回日本難病看護学会学術集会が下記の日程にて開催される予定であることが説明され、挨拶が行われた。

第 22 回日本難病看護学会学術集会

会 長： 小長谷百絵（上智大学）

会 期： 平成 29 年 8 月 25 日（金）～8 月 26 日（土）

開 催 地： 上智大学 四谷キャンパス

以上